

千葉県スキー連盟活動方針

千葉県スキー連盟は、本年設立56年目を迎えます。昨年度の登録状況については、会員2117人、クラブ（連盟）96団体、指導者898人でした、また公認スキー教室は22回、級別テスト23回の実施でありましたが、ここ数年では会員登録数等全てで微減を続けています。わが国のスキー人口（以下スノーボード含む）も年々減少し650～700万人と言われてはいますが、本県も例外ではなくその影響を受けているといえます。

しかし、SAJはもとより本連盟も設立当初から「スキーの普及・振興」を目的に掲げ、今日に至っています。それは、ウインタースポーツの代表的なスキーの楽しさを後世に永続的に伝えていく義務を負っているからであります。従って、私たちが身につけているスキーの理論や技術能力は常に進化を遂げていますが、それらは体系的に共通の財産として余すことなく後世に伝承していくことは千葉県スキー連盟の使命であると思えます。

そこで、本連盟では総務・競技・教育各部で例年実施されてきたすべての事業について「スキーの普及・振興」を念頭に置いて、事業や予算の見直しを図ることとします。また、理事役員等は本連盟の会議、クラブの会議・事業等に積極的に参加し、スキーの普及振興に貢献することとします。

各クラブ（連盟）においても同じ旗印のもと、SAJや本連盟事業、クラブの事業に取り組みスキーの活性化を図っていただきたいと願っています。また、地域のスキー人口拡大に繋がるクラブ主催のスキー教室はその普及振興において最も有効的な事業でありますので、今後とも継続して開催されることを強く念願しています。特に、子どもたち対象のスキー教室は、未来のスキー界を担う非常に重要な事業であり、個人的にも、家族や友人と連れ立ってスキーを楽しんでいる人やグループ等で国内外のスキーツアーをエンジョイしている人もたくさんいます。さらに、近年は各スキー場のスキー教室の指導者として何日間も中学生や高校生を指導し、教えることの喜びを享受している人もたくさんおり、年々、その需要が増えています。

これらもすべてスキーの普及振興に大きく貢献しており、さらに輪を広げていくことが望まれています。

このように本連盟では、広く県民や会員に「スキーの普及・振興」という活動方針の旗幟を鮮明にして、SAJ、県連、クラブそして会員に至るまで連帯感を深めつつ、その普及振興に努めていくことを改めて決意し、各クラブはじめ会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

なお、この活動方針は貴クラブ会員にコピーして配布し、ご理解を深めていただくようお願いいたします。

平成28年7月3日

千葉県スキー連盟 会長

塚本 英士 男